



環境報告書 2007

天野エンザイム株式会社

2007.9 発行

本報告書はリサイクル PPC 用紙を使用しています。

I. 環境基本方針、環境方針

1. 環境基本方針

天野エンザイム株式会社の企業理念に則り、『企業理念<私たちの目的><私たちの経営指針>』を環境基本方針とする。

企業理念

◇ 私たちの目的 ◇

酵素を通して

新しい価値を創生し、社会に貢献します

天野エンザイムは、創業以来 100 年余の間、「自然と共生し、資源を大切にする日本の文化・伝統」の中で生まれ、その文化や伝統を受け継いできました。

私たちは、こうした文化を、「酵素が係わる」ことによって生み出される付加価値を通して世界に発信し、社会へ提供することによって、「企業は社会のためにある」という理念を実現します。

◇ 私たちの経営指針 ◇

顧客の視点に立ちます

商品の良否を決めるのは顧客です。私たちは、常に顧客の視点に立ち、顧客が真に必要な商品やサービスを提供し、顧客から相談され、良きパートナーとして選ばれるようになります。

オープンでフェアに行動します

私たちは、法令や社内規範を順守するとともに、顧客、社員、地域社会、株主、関係企業等すべてに対して、常にオープンでフェアに行動し、社会から信頼される良き企業市民をめざします。

長期安定成長をめざします

私たちは、各国・各地域の文化・慣習・制度を尊重し、長期的な視点で事業展開して、堅実かつ誠実な経営により、企業と社員ともに物心両面の長期安定成長を図り、社会への貢献を継続します。

2. 環境方針

1. 天野エンザイム株式会社は全ての環境関連の法規制を順守するとともに、自主管理基準を定め、その達成を目指す。また、地域との環境に関する協定等の約束事項及び同意するその他の要求事項を順守する。
2. 酵素の設計・開発、製造及び販売活動において、特に次の項目について実施する。
 - ① 業務の効率化により環境負荷を低減する。
 - ② エネルギーを無駄なく有効に利用する。
 - ③ 産業廃棄物を削減し、再資源化する。
 - ④ 事業所排水規制を順守する。
 - ⑤ 事業所周辺からの環境苦情を無くす。
3. 前項の推進の為、環境目的・目標を明確にするとともに、実施計画（EMP：環境マネジメントプログラム）にブレークダウンし、各事業所における事業活動、製品及びサービス等の性質、規模、環境影響に十分に配慮して環境活動を行う。また、定期的に見直しを行ない、継続的改善及び汚染の予防に努める。
4. これらの環境活動に対し、組織の構造・責任・権限・手順・工程を文書化し、当該活動に対する資源を積極的に投入し、実行・維持する。
5. 環境への意識高揚の為、全従業員及び関連する人々に環境方針を周知徹底する。
6. この環境方針は一般の人々が入手可能とする。また、環境情報を公開し、周辺地域とのコミュニケーションを図る。

2007. 4. 1

Ⅱ. 2006 年度 事業所内外の活動について

2006 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 59 期(2006 年度)環境目的・目標を策定し、環境活動を開始した。 ・五事業所 2005 年度法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙(コピー用紙、雑古紙類)のリサイクル回収(第 12 回)を実施した。 ・五事業所 環境影響評価、環境影響登録簿の見直し及び改訂を実施した。 ・養老工場 大垣市へ一般廃棄物削減計画書を提出した。 ・岐阜研究所 環境配慮事業所(E工場)平成 17 年度実施状況報告書を岐阜振興局に提出し、受理された。
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 58 期(2005 年度)EMS 活動報告を EMS 委員会で発表した。 ・内部監査員グレードアップ研修のため外部講師による社内研修を実施した。内容は「JIS Q14001:2004 年度版規格改正ポイント解説」(延べ出席者 43 名) ・平成 17 年度 産業廃棄物処理報告書・計画書、特別管理産業廃棄物実績報告書、県外産業廃棄物搬入状況報告書等を官庁へ提出した。 ・西春工場 工場音削減のための防音工事を実施した。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所対象に省エネルギー提案キャンペーン(7 月～9 月)を実施した。 ・内部環境監査を実施した。【第 58 期指摘事項は正の継続性、環境目的・目標、実施計画(EMP)に関する活動が、環境改善に展開できる方向での監査を行った。】 ・地域環境活動の一環として各務原市民清掃に参加した。(11 名参加)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報伝達手順書の見直し・改訂を行った。 ・事故、緊急事態対応模擬訓練を実施し、手順書の有効性を確認した。 ・名古屋工場に養老工場から脱臭塔を移設・設置し、8/7 より脱臭を開始した。 ・古紙(コピー用紙、雑古紙類)のリサイクル回収(第 13 回)を実施した。
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー提案キャンペーン期間中の省エネ提案は 235 件で、約 620 万円の経済効果が得られた。(今後も省エネ活動は継続して行く) ・四事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 2006 年度上半期環境マネジメントプログラム実績報告書を作成した。 ・五事業所 2006 年度上半期 法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。 ・本社用社用車としてプリウスを購入した。
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 (JIS Q14001:2004)維持審査を受審した。[日本化学キーエィ(株)] 審査結果及びアドバイス内容について、五事業所で水平展開した。 ・地域環境活動の一環として各務原市民清掃に参加した。(12 名参加)
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 維持審査の結果、12/18 J C Q A 登録委員会で適合した。 ・冬季の省エネルギー対策として、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼掛けた。
2007 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・天野エンザイム株式会社 第 60 期(2007 年度)環境目的・目標を策定した。 ・名古屋工場廃水処理場の能力増強工事を実施した。(廃水処理の能力アップ)
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 60 期(2007 年度)環境目的・目標、実施計画(EMP)を策定した。 ・西春工場 建屋撤去、建屋内不要物を整理した。(H18.12～H19.2)
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 60 期 環境方針の見直しを行った。(業務の効率化による環境負荷低減を追加) ・四事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・四事業所 第 1 種指定化学物質の使用量調査と管理点検を実施した。
その他 五事業所の主な活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境美化活動として工場、本社周辺道路、側溝の美化活動を実施した。(1 回/月) ・工場内の環境パトロール、臭気パトロールを実施した。 ・地域利害関係者との外部コミュニケーション：①養老工場の地元(山村、二又)への説明会開催(養老工場)②産業廃棄物排出計画の事前連絡の実施、③工事等(臭気、騒音発生)の事前連絡の実施 ・各務小学校の資源回収に古新聞、不要書籍などの紙資源の寄付に協力した。(岐阜研究所) ・地元小学校、保育園の古紙回収に協力、ダンボール屑 1.7 t 提供した。(養老工場) 	